

障害者とともに働く企業

株式会社ニューオタニ

尾谷社長の充実人生

春日部市カヌー協会の尾谷英一会長（73）は、このほど埼玉県障害者雇用優良事業所として認定された。豊野工業団地に靴底製造販売「株式会社ニューオタニ」は、従業員5人と知的障害者4人を採用、障害者雇用率77・78％に達する。幾多の困難に遭遇しながら「障害者とともに働く企業」を社是とした背景を探ってみた。



■全国高校スキー大会優勝

尾谷さんは、昭和22年6月小千谷市生まれ。前回の東京五輪の年に新潟県・小千谷高校1年の時「スキー難走」の部で全国優勝を遂げた。今でいうノルディック種目のリレーのメンバーだった。「スポーツは嫌いではなかったが、中学時代の担任の先生や素晴らしい先輩に出会うことができた。

カヌーとの出会いは、「25年前に閑宿から江戸川伝いに矢切まで川下りした。特に印象深いのは、80歳の母親と小学生の息子とマイクロネシアの美しい海でカヌーを漕いだ時」その後、3度も当地を訪れ「大自然の素晴らしさに打たれた。

■障害者に背中押され

今年で創立40周年の工業団地に移る前は、都内で創業していたが、安価で大量生産の中国製品に押され、幾度かの景気後退などで同業他社の倒産が相次いだ。

靴底の製造工程には、合成ゴムを型にはめての切断、穴あけ、接着、整形、仕上げがあり、「知的障害者であっても、それぞれの得意な仕事がある。それどころか自信を持って仕事に立ち向かう姿は健常者以上の情熱を傾け、集中力を発揮する」と、尾谷さんは個人個人の潜在能力を見極めていた。しかし、かつて市内に複数軒の同業者も撤退し、将来展望を見込めない現状にあったが、懸命に働く障害者に何度も後押しされた。

■障害者スポーツに活路

景気の波に翻弄され「仕事がない時は、頭を切り換えてみんなでソフトボールをしていた。それが健常者の中に入ってプレーするようになり、『フレンドリー春日部』を結成して、全国障害者スポーツ大会に送り出し、平成19年には全国大会が県内で開かれベスト4を獲得した」と、話す。

また、障害者スポーツの「卓球バレー」では、令和元年10月に「オール春日部」のメンバー14人で臨み、全国大会出場20チームの頂点に立った。選手兼監督の尾谷さんは「卓球バレーは、1チーム6人同士が卓球台で対峙し、ボールをネットの下を通し、相手コートに3打以内で返す競技。選手は椅子に座りプレーする。

■昨年「シラコバト賞」獲得

冒頭に紹介した株式会社ニューオタニの社是「障害者とともに働く企業」は、障害者スポーツでも花開いた。昨年11月に彩の国コミュニティ協議会から「シラコバト賞」を受賞した。大野元裕知事から「あなたは心豊かで住みよい地域社会をつくるため積極的な活動を続けられた」と表彰状が贈られた。また、2019年度の春日部市体育賞の「体育奨励賞」が授与された。



祝 第1回古利根川ダウンリバー春日部を応援しています



春日部市ネイチャーフォトクラブ
会長 持地則雄

(有)金重総合管理
代表取締役 金重一夫

フレンドリー春日部

卓球バレー 2019全国障害者スポーツ大会優勝

- 卓球バレーに参加しませんか
- 障害者福祉の向上
- 地域における生涯スポーツの推進
- 障害のある人もない人も共に生きる「ユニバーサル社会」を目指す

- ソフトボール ● ティボール ● サッカー
- 四面卓球 ● バレー ● カヌー
- 【勉強会】 ● 読み書き ● 計算 ● 音楽

豊野町自治会館にて月1回
●事務局 飯島はな代 ☎090-7420-2630

監督 尾谷英一
埼玉県卓球バレー協会普及部長
☎048-736-6078

<https://www.nhk.or.jp/heart-net/parasports/takkyu-volley/>

